

八 政 総 審 第 号
令和 2 年 4 月 日

八尾市長 山本 桂右 様

八尾市総合計画審議会
会 長 初 谷 勇

八尾市第 6 次総合計画基本構想及び基本計画（行政素案）及び
八尾市総合戦略の効果検証について（答申）

令和元年 7 月 1 日付け八政政第 53 号で諮問のありました八尾市第 6 次総合計画基本構想及び基本計画（行政素案）及び八尾市総合戦略の効果検証について、当審議会として慎重かつ活発に審議を重ねた結果、八尾市第 6 次総合計画基本構想及び基本計画（行政素案）に関しては別添のとおり取りまとめ、また八尾市総合戦略の効果検証に関しては、KPI 達成に有効であったとの結論に至りましたので、ここに答申いたします。

今後、本答申をもとに、八尾市第 6 次総合計画が策定され、地域住民、通勤・通学者、企業や団体等八尾に関わるあらゆる市民とともに、将来都市像の実現に向けて取り組まれることにより、来る 8 年の間に、八尾市がより一層の発展を遂げることを切に願います。

なお、八尾市第 6 次総合計画の策定にあたっては、下記の事項について特に配慮されることを求めます。

記

1. 地域コミュニティに対する価値観が多様化する中、市民一人ひとりが地域づくりをわが事と考え、結束・連帯しともに進める必要があります。とりわけこの 10 年間八尾市において積み重ねてきた地域コミュニティへの向き合い方を大切に、今後の具体的な展開方策についてはさらに議論を重ね、各地域の個性を尊重しながら、丁寧な取り組みがなされるよう期待します。
2. 市民や地域、企業等多様な主体と行政が連携協力を図りながら、総合計画を着実に推進することを期待します。とりわけ、八尾に関わるすべての市民が「しあわせ」を感じられるまちとして示す「将来都市像」の実現にあたっては、市民と行政がともにその達成状況を認識し、評価できるよう、実効性のある進行管理のしくみを構築することを要望します。
3. 将来都市像の実現にあたっては、6 つのまちづくりの目標に対する取り組み方向を政策として定め、それぞれの政策を推進するための施策を体系的に示しています。6 つの政策の実行を意識した施策展開が図られることを期待します。

以上